

令和 6 年度 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 3 1 日

<基本目標Ⅰ>安心して自分らしく生活ができるための包括的支援体制の充実

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿①「誰もが、ともに生きるまち」

《相談支援・権利擁護部門》

各種事業の推進、総合相談機能の強化

※各事業の財源の表記については以下の順で表記します。

(財源) R6年度決算額【R5年度決算額】

1 旭区ボランティアセンター

(市受託金・事業収入)533 千円【572 千円】

「ボランティア活動をしたい」、「ボランティアをお願いしたい」などのボランティア活動に関する相談を受け、地域のつながりを活かしたコーディネートに努めた。また、新しい活動のきっかけとなるよう、活動に関する情報発信や入門講座を行った。

(1) ボランティア相談調整、登録者数等【拠点運営ボランティア活動事業】

【相談調整】

() は前年度実績

対象／件数	依頼件数	紹介件数	紹介人数	調整数
児童	14 (11)	5 (4)	10 (14)	149 (178)
障害	53 (40)	20 (13)	48 (40)	713 (487)
高齢	125 (65)	68 (34)	111 (77)	1252 (851)
外国人	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (12)
限定せず	30 (15)	18 (9)	55 (59)	407 (308)
その他	19 (19)	10 (11)	38 (29)	386 (339)
合計	241 (151)	121 (71)	262 (219)	2907 (2175)

【登録者数】

個人	256(うち新規 64)人	前年度：345 人
団体	170(うち新規 13)団体	前年度：178 団体

【ニーズ対応率】50% (47%)

(2) ボランティア情報の発信【拠点運営ボランティア活動事業】

- ①ボランティアセンター広報紙「ボランティアセンターニュース」を年2回発行。
- ②旭区ボランティアセンターに寄せられるボランティアニーズ情報や活動メンバーの募集等、関連情報を区社協ホームページに掲載した。(更新回数 35 回)



ボランティアセンターニュース



区社協ホームページ

(3) ボランティア講座の開催 【拠点運営ボランティア活動事業】

講座名	やってみよう！ボランティア～ボランティア入門講座～			
日 程	8月20日（火）			
場 所	旭区福祉保健活動拠点			
内 容	高校生、大学生向けに夏休み期間に実施。 旭区ボランティアセンターの紹介、ボランティアの基礎知識、写真を使った活動例の紹介、ガイドボランティア事業（移動情報センター）の紹介、夏休み期間を含めた活動のマッチング相談。			
参加者	6人			
講座名	地域ケアプラザ合同ボランティア入門講座			
日 程	①12月9日（月）②12月20日（金）			
場 所	①南希望が丘地域ケアプラザ ②笹野台地域ケアプラザ			
内 容	旭区ボランティアセンターの紹介、ボランティアの基礎知識、活動例の紹介、ガイドボランティア事業（移動情報センター）の紹介マッチング相談			
参加者	①4人 ②2人			
講座名	ボランティア交流会			
日 程	2月4日（火）			
場 所	旭区福祉保健活動拠点			
内 容	（1）登録ボランティアによるボランティア活動紹介 登録ボランティア3名の方にご協力いただき、演芸や移動支援等様々なジャンルのボランティア活動についてそれぞれの経験に基づき説明。 （2）情報交換会 ボランティア活動のきっかけや活動の中での困りごとなどについてグループに分かれて情報交換を行った。			
参加者	29人			
講座名	「認知症サポーター養成講座」 認知症について知ろう～認知症の方との関わり方～			
日 程	2月18日（火）			
場 所	旭区福祉保健活動拠点			
内 容	（1）講話 （2）グループディスカッション 認知症の方との関わりで不安なことや気になることについて意見交換。 講師：旭区ひまわりの会			
参加者	26人			

(4) 福祉関連物品の貸出・整備 【拠点運営ボランティア活動事業】（ ）は前年度実績

名 称	車イス	高齢者疑似体験セット	点字器	白杖
貸出件数	85 (83)	8 (12)	1 (1)	1 (1)

- (5) 助成金に関する情報収集・情報提供【拠点運営ボランティア活動事業】
他団体の助成金事業や民間の助成金事業の情報収集を行い、情報提供を行った。

(6) ボランティアセンター運営委員会の開催【センター運営事業】

第1回	日 程	7月22日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人
	内 容	(1) 自己紹介 (2) 令和5年度旭区ボランティアセンター事業報告について (3) 令和6年度旭区ボランティアセンター取組状況について (4) ボランティアニーズへの対応状況(コーディネート事例)について
	結 果	(2)(3) 承認された。(4) 検討した。
第2回	日 程	3月5日(水)
	人 数	5人
	内 容	(1) 令和6年度取組について (2) 令和7年度旭区ボランティアセンターの事業計画(案)について (3) 令和6年度善意銀行金銭寄付・配分状況について (4) 令和7年度善意銀行配分計画(案)について
	結 果	(1) 報告した。(2)～(4) 承認された。

(7) ボランティア保険の事務手続き【センター運営事業】()は前年度実績

受付件数	579(560)
事故・返戻等対応件数	33(42)

2 移動情報センターあさひ

移動情報センター運営(市受託金収入、会費収入)
8,697千円【8,902千円】
ガイドボランティア事業(市補助金収入)
4,681千円【2,037千円】

障害児者にとって日常生活の課題である「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族からの相談対応を行った。

また、相談に関して関係機関との情報および支援の方向性の共有を図った。

【相談件数】189件()は前年度実績

障害種別	件数	障害種別	件数
身体障害	49(44)	知的障害	68(87)
精神障害	13(18)	重複障害	13(21)
難病	3(4)	その他(高齢)	43(59)
合計 189(233)			

【相談内容】189 件（ ）は前年度実績

相談内容	件数	相談内容	件数
通院	37(45)	余暇	35(33)
通学・通所	79(101)	制度説明	27(41)
急を要する移動	1(4)	その他	10(9)
合計 189 (233)			

(1) 移動情報センター推進会議

第1回	日 程	6 月 28 日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	18 人
	内 容	(1) 令和 5 年度移動情報センターあさひ事業報告について (2) 意見交換 「公立小中学校へのアプローチについて」 「思春期から成人にかけて成長にともなう対応について」
	結 果	(1) 報告した。(2) 情報交換を行った。
第2回	日 程	2 月 26 日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	15 人
	内 容	(1) 令和 6 年 12 月末現在の相談受付状況等について (2) 令和 7 年度移動情報センターあさひ事業計画（案）について (3) 意見交換 「公立校個別級の児童の自立例について」 「成人通所支援の、他機関との連携事例について」
	結 果	(1) 報告した。(2) 承認された。(3) 情報交換を行った。

(2) ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの確保に努め、移動支援をきっかけとした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

【ボランティア登録者・支援対象者数】（ ）は前年度実績

ガイドボランティア登録者（人）	93 (81)
ガイドボランティア支援対象者（人）	65 (67)

(3) 移動支援事業所と関係を深め今後の支援に活かしていくため、また事業所の課題吸い上げのため、事業所連絡会を開催した。

会議名	令和 6 年度移動情報センターあさひ福祉有償運送事業所連絡会
日 程	5 月 30 日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	2 団体
内 容	区内で移動支援を行うにあたり、やりがいや課題と感じている事についての情報交換

(4) ガイドボランティアのスキルアップを目的に、交流会を開催した。

講座名	ガイドボランティア交流会～こんなとき、どうしてる？～
日 程	7月24日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	12人
内 容	(1) 認定NPO法人横浜移動サービス協議会西脇太郎氏による講演と 対応実践 (2) 意見交換



ガイドボランティア交流会
講師：認定NPO法人横浜移動サービス協議会



第2回推進会議 意見交換の様子

3 旭区あんしんセンター

(市社協委託料)(利用料収入)688 千円【688 千円】

権利擁護事業から成年後見制度への移行など権利擁護に関して、サポートネット等関係者と連携しながら適切な制度利用となるように調整した。

また、現契約者の対応回数や対応銀行の見直しをし、あんしんセンターでは十分に対応できない利用者を他機関につなぐことで、業務の効率化を図ることができ、新規契約者数を22件に増やすことができた。(前年度新規契約件数17件)

(1) 権利擁護事業

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象として、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、以下のサービスを実施した。

- ① 福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ② 預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

() は前年度実績

内容		実績
初回相談件数(件)		77 (67)
サービス	定期訪問・金銭管理サービス件数(件)	81 (84)
	預かりサービス件数(件)	6 (8)
利用者総数(人)		81 (84)
新規利用者数(人)		22 (17)
終了利用者数 (人)		25 (19)
成年後見制度移行件数		4 (4)

(2) 市民後見人養成・活動支援事業

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人の養成および活動支援を行った。

① 市民後見人登録者との面談の実施 2回

② 旭区内市民後見人バンク登録者 4人（後見人受任者 4人）

(3) 権利擁護事業・成年後見制度普及啓発

日程	内容・対象
5月10日（金）	権利擁護事業説明（社会福祉士分科会@二俣川地域ケアプラザ）
6月12日（水）	権利擁護事業説明（ケアマネ連絡会@二俣川地域ケアプラザ）
7月5日（金）	権利擁護事業説明（上白根地区社協サロン@ひかりが丘地域ケアプラザ）
7月12日（金）	権利擁護事業説明（社会福祉士分科会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ）
7月23日（火）	権利擁護事業説明（鶴ヶ峰・白根・左近山地域ケアプラザ合同ケアマネ連絡会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ）
7月31日（水）	権利擁護事業説明（ケアマネ連絡会@川井地域ケアプラザ）
9月26日（木）	権利擁護事業説明（新任・就労予定ケアマネジャー研修@区役所）
11月22日（金）	権利擁護事業説明（第2回旭区サポートネット全体会@区役所）
2月28日（金）	権利擁護事業説明（生活支援課職員研修@区役所）
3月19日（水）	権利擁護事業説明（上白根アカデミー@上白根地域ケアプラザ）

(4) 成年後見サポートネット専門職会議への参加

日 程	6月20日（木）
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	（1）第4四半期報告の共有 （2）高齢者支援担当のケース共有
日 程	9月18日（水）
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	（1）第1四半期報告の共有 （2）障害者支援担当のケース共有
日 程	11月22日（金）
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	（1）第2四半期報告の共有 （2）高齢者支援担当のケース共有
日 程	3月6日（木）
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	（1）第3四半期報告の共有 （2）アセスメントシートの共有 （3）次年度に向けての意見交換

(5) 成年後見サポートネット全体会への参加

日 程	6月20日(木)
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	(1) 各専門団体でできること・強みを聞き日常業務に生かす (2) グループワーク
日 程	9月18日(水)
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	(1) 民間の身元保証会社について学ぶ (2) グループワーク
日 程	11月22日(金)
場 所	旭区役所 大会議室
内 容	(1) 障害のある方に対する成年後見制度等の利用について (2) グループワーク

(6) 市民後見サポートネットの開催

日 程	8月1日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
内 容	(1) 市民後見人の強みとは(事例発表) (2) グループワーク

4 生活福祉資金貸付事業

(県社協受託金収入) 3,523千円【3,494千円】
(特例貸付) 1,400千円【1,400千円】

特例貸付(緊急小口、総合支援資金)を中心に、物価高騰などにより、日常生活の維持が困難となっている世帯の償還状況について把握し、審査機関につなげた。

特例貸付については、令和4年9月末をもって制度対応が終了し、令和5年1月から償還支援を開始した。令和6年度の猶予と免除申請については、県社協コールセンターを通して、本会から状況を聞き取り支援を行った。

また、特例貸付以外の低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的とした各種資金貸付の案内・申請事務にあたった。

【特例貸付償還相談・事務対応件数】

生活福祉資金(特例貸付)	償還相談件数	免除・猶予申請取扱件数	貸付金額(円)
緊急小口資金	89	4	—
総合支援資金	117	8	—
合 計	206	12	

【本則貸付相談件数、貸付件数・金額】

生活福祉資金(本則貸付)	相談件数	貸付決定件数	貸付金額(円)
総合支援資金貸付	38	0	0
臨時特例つなぎ資金貸付	0	0	0
緊急小口資金貸付	268	3	300,000

福祉資金(生活必需品・車両購入等)	2,968	4	466,000
福祉資金(教育支援資金)		48(辞退含む)	32,226,000
不動産担保型生活資金	56	0	0
合 計	3,330	55	32,992,000

5 生活に困難を抱える方々への支援

深刻かつ見えにくい課題を抱える人たちを身近な地域で把握し、個別の課題を地域の課題として捉え、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

- (1) 福祉の相談窓口として、住民から寄せられる様々な相談・悩みごとを受け止め、対応に努めた。また、旭区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、専門職等とのネットワークにより生活問題の把握や相談者との関係づくりに努め、フォーマル・インフォーマルネットワークを活かした問題解決の取り組みを行った。

() は前年度実績

相談内容	相談件数	うち個別支援に関する相談件数
生活困窮者支援に関する相談(食支援含む)	157 (86)	157 (86)
地域支援に関する相談	42 (74)	8 (10)
法人運営に関する相談	1 (4)	-
団体事務に関する相談	1 (5)	-
一般(寄付)に関する相談	28 (22)	-
合 計	229 (191)	165 (96)

- (2) 職員の相談対応力の強化

複雑化・複合化した地域住民の支援ニーズに応えていくために、内部研修会や事例検討を通じて、職員の相談対応力の強化を図った。また、地域支援につながる取組について、内部検討を実施し、個別課題の顕在化・共有化を図った。

- (3) 要援護世帯への支援と他機関連携

様々な事情により生活課題を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関との連携により支援した。

- (4) 生活困窮者への緊急食料等の支援

緊急的に食料が必要な方や、経済的に困窮され、安定した生活や自立した生活に戻るために意欲的に取り組んでいる世帯に向けて、セカンドハーベストジャパン、フードバンクかながわと連携し、食料支援を実施した。

【利用件数】

() は前年度実績

支援機関名	利用世帯数	／	利用回数
セカンドハーベストジャパン	68 世帯 (45 世帯)	／	83 回 (62 回)
フードバンクかながわ	58 世帯 (49 世帯)	／	60 回 (67 回)

(5) 火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。 4 件 20,000 円

(6) 低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。 1 件 360 円

＜基本目標Ⅱ＞多様な主体による支え合いの地域づくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿②「みんなが、声をかけあえるまち」

＜地域福祉推進部門＞

地区社協活動の支援

(会費収入・市社協補助金・共同募金)5,716 千円【4,642 千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ、情報提供や助成等の支援を行った。身近な地域での困りごとを早期に発見し、地域社会からの孤立を防ぎ、支援につなげるため、地区社協を中心とした見守りの仕組みづくり「ご近助 ほっこり活動」を推進した。

1 地区担当制による相談・調整・活動支援(地区社協活動費の交付等)

(1) 地区社協活動に関する相談・調整・活動支援

- ①各地区に担当職員を配置し、地域活動状況や地域課題を踏まえ、必要な話し合いの場づくりや地域活動団体同士のネットワークづくりを支援した。
- ②区社協に寄せられた個別相談を地区社協等につなげ、地域の中で個人の困りごとについての対応を検討する話し合いの場をつくった。
- ③区社協内では、地区担当職員間の情報共有や地区支援の方向性の検討を目的とした「地域支援勉強会」を年 11 回開催し、地区社協等の地域活動支援について地区ごとに地域ケアプラザと情報交換、支援方法の検討をした。

④区内 19 の地区社協の活動支援を目的として地区社協活動費の交付を行った。

【地区社協活動費】総額 5,570,000 円

(単位:円)

	地区名	市社協 補助金	区社協助成					
			均等配分	世帯数 按分	ホーム ページ	広報紙	見守り	合計
1	鶴ヶ峰	50,000	160,000	86,000	-	10,000	-	256,000
2	白根	50,000	160,000	44,000	-	50,000	-	254,000
3	旭北	50,000	160,000	65,000	-	10,000	-	235,000
4	上白根	50,000	160,000	12,000	-	-	-	172,000
5	今宿	50,000	160,000	44,000	-	50,000	-	254,000
6	川井	50,000	160,000	39,000	-	-	30,000	229,000
7	若葉台	50,000	160,000	48,000	30,000	70,000	30,000	338,000
8	笹野台	50,000	160,000	37,000	30,000	50,000	-	277,000
9	希望が丘中	50,000	160,000	32,000	-	-	-	192,000
10	希望が丘南	50,000	160,000	29,000	-	50,000	-	239,000
11	希望が丘東	50,000	160,000	52,000	-	10,000	-	222,000
12	さちが丘	50,000	160,000	41,000	-	10,000	-	211,000
13	万騎が原	50,000	160,000	35,000	30,000	50,000	-	275,000
14	二俣川	50,000	160,000	52,000	-	10,000	-	222,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	160,000	38,000	30,000	70,000	-	298,000
16	旭中央	50,000	160,000	18,000	-	10,000	-	188,000
17	旭南部	50,000	160,000	36,000	-	-	-	196,000
18	左近山	50,000	160,000	41,000	-	70,000	30,000	301,000
19	市沢	50,000	160,000	21,000	-	50,000	30,000	261,000
	合計	950,000	3,040,000	770,000	120,000	570,000	120,000	4,620,000

区社協助成については、共同募金（年末たすけあい）を財源とし助成を行った。

ホームページの開設・運営：30,000 円

広報紙等の発行：年 1 回以上 10,000 円、年 4 回以上（全戸配布）50,000 円、
年 6 回以上（全戸配布）70,000 円

ご近助 ほっこり活動推進：上限 30,000 円

(2) 情報共有・提供の場の開催・分科会、研修会の実施

地区社会福祉協議会分科会（P 33～P 35 参照）を開催し、情報交換会や研修会を行った。（奇数月の年 6 回）

各地区社協の広報紙や地区社協に関連するお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として情報提供を行った。（偶数月の年 6 回）

(3) 見守り活動「ご近助 ほっこり活動」の推進

見守り活動推進研修会を開催し（全 3 回）、地区社協が中心となり地区の中で見守り活動を推進していくために必要な知識や他地区の取組みを学ぶ機会をつくった。

（P 34～P 35 参照）

ボランティア・市民活動団体への支援

1 地域福祉活動の充実に向けた支援

(市社協補助金・共同募金・善意銀行・子どもの未来応援基金)
12,069 千円【11,039 千円】

(1) ふれあい助成金、区社協独自助成金等の配分

区内の地域福祉関係団体（ボランティア・当事者団体等）や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。（P41～P45 参照）

【助成金審査委員会】

助成金審査委員会において助成金制度の円滑な運営と適正な執行、申込団体の審査、制度の検討等を行った。

第1回	日 程	6 月 12 日（水）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	5 名
	内 容	(1) 令和 5 年度あさひふれあい助成金の助成結果について (2) 令和 6 年度あさひふれあい助成金の審査について (3) 令和 5 年度旭区地域福祉活動団体助成の助成結果について (4) 令和 6 年度旭区地域福祉活動団体助成の審査について (5) 令和 6 年度旭区社協独自助成金の助成状況について
	結 果	(1)～(4) 承認された。(5) 報告した。

【あさひふれあい助成金】

市社協補助金・共同募金配分金・善意銀行を財源として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。助成団体には、共同募金の受配団体であることを活動チラシに明記することや、街頭募金活動への協力等を依頼した。

区分		助成件数	助成金額（円）
要援護者支援	集いの場	54	5,425,000
	家事・生活支援活動	9	828,000
	配食	6	1,080,000
	送迎	4	1,250,000
障害当事者支援	障害当事者活動	10	930,000
	宿泊日帰り	1	50,000
	視聴覚障害者支援	1	50,000
福祉のまちづくり		19	750,000
健康増進		3	30,000
新規立ち上げ		1	40,000
合計		108	10,433,000

【旭区社協独自助成金】

新たな地域活動の立上げや活動の継続と充実を支援するため、旭区社協財源を活用して独自助成金（①ボランティア活動備品購入、②周年事業・記念誌発行等助成金、③地域の見守り支えあい活動助成金）を交付した。「子どもの未来応援助成金」については、助成上限額を引き上げ、物価高騰に対応するための見直しを行った。

	名称	件数	金額（円）	財源	助成内容
1	ボランティア活動備品購入	3	161,000	善意銀行	（上限額 10 万円）
2	周年事業・記念誌発行等助成金	0	—	—	—
3	地域の見守り支えあい活動助成金	11	310,000	善意銀行	（上限額 3 万円）
4	子どもの未来応援助成金	9	510,000	あさひ子どもの未来応援基金	（上限額 22 万円）

【旭区地域活動団体等助成】

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。（2 団体、総額 554,000 円）

2 活動場所の提供

（1）旭区福祉保健活動拠点の運営 （市受託金収入・負担金収入）15,553 千円【15,481 千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。（指定管理期間：令和 3 年度～令和 7 年度）

ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。（P 1 参照）

貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 97 団体（令和 5 年度：98 団体）

【利用状況】

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	243	243	158	99.2	99.2	64.5
多目的研修室	118	123	198	48.2	50.2	80.8
点字製作室	145	44	20	59.2	18.0	8.2
録音室	3	11	0	1.2	4.5	0.0
対面朗読室	31	26	144	12.7	10.6	58.8

土曜日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	29	18	0	58.0	36.0	0
多目的研修室	13	20	49	26.0	40.0	98.0
点字製作室	2	2	0	4.0	4.0	0
録音室	0	0	0	0	0	0
対面朗読室	4	3	1	8.0	6.0	2.0

日祝日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	19	25		28.4	37.3	
多目的研修室	27	31		40.3	46.3	
点字製作室	11	2		16.4	3.0	
録音室	0	0		0	0	
対面朗読室	2	2		3.0	3.0	

【窓口満足度調査】

窓口満足度調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

実施期間	11月1日(水)～11月30日(木)
回答者	70人
主な意見	① 何時も不備な点に気づき対処して下さり、ありがとうございます。 ② 職員さんが笑顔で応対してくれました。心も元気になり嬉しかったです。 ③ 本当にいつも相談にきちんとのおって下さり、それ以上の対応をして頂けて助かっています。 ④ いつも利用させていただき感謝しています。職員の方々はどなたも丁寧な対応をされています。
改善宣言	① 来館者一人ひとりに丁寧に対応できるよう研修等を継続し、職員全員の窓口対応の維持向上に努めます。 ② 今後も皆様のご意見等を反映しながら、快適にご利用いただけるよう、設備の向上に努めます。 ③ 気軽に相談できる窓口として、挨拶や声かけを積極的に行います。 ④ 各種感染症予防など、時節に沿った掲示・案内に努めます。

【利用団体懇談会】

利用団体への福祉保健活動拠点利用方法の周知や、団体間の情報交換・連携を目的として開催した。

日 程	2月14日(金)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	17人
内 容	(1) 窓口満足度調査の報告について (2) 旭区福祉保健活動拠点の利用について (3) 情報交換会 (4) 消防訓練(119番通報訓練、避難経路確認)

協働・連携による福祉課題へのアプローチ

1 地域福祉保健計画の推進

第4期(令和3年度～令和7年度)旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の事務局を旭区役所・地域ケアプラザと協働で担い、進行管理や地区別支援チームの支援を行った。また、第5期計画(令和8年度～令和12年度)の策定に向けて、地域活動関係者、福祉施設、企業等へのヒアリングを行い、骨子案を作成した。

(1) 地域福祉保健計画事務局会議の開催(原則毎月第3金曜日)

日 程	①4月12日②5月17日③6月21日④7月12日⑤8月9日⑥9月13日 ⑦10月11日⑧11月13日⑨12月13日⑩1月24日⑪2月21日⑫3月14日
場 所	旭区役所外部会議室等
人 数	旭区役所(福祉保健課課長、事業企画担当係長、担当職員3名) 地域ケアプラザ(所長2名、地域活動交流コーディネーター2名、生活支援コーディネーター2名) 区社協(事務局長、事務局次長、担当職員2名)
内 容	新任職員研修会の内容・進行の検討 地域福祉保健計画推進会議の資料検討・会議進行の検討 地域福祉保健計画策定検討部会 of 資料検討・会議進行の検討 第5期計画骨子案の作成 福祉大会等の内容の検討や支援チームの取組状況の共有

(2) 地域福祉保健計画推進会議の開催

第4期旭区地域福祉保健計画の推進、取組みの振返り及び第5期計画の骨子案の承認を行った。

第1回	日 程	5月24日（金）
	場 所	区役所地下1階3号会議室
	人 数	13人（福祉・保健・医療関係団体代表者）
	内 容	(1) 令和5年度の取組報告（第4期区計画推進に関する報告） (2) 第4期区計画の振り返り (3) 第5期区計画の策定について
第2回	日 程	2月27日（木）
	場 所	区役所新館大会議室
	人 数	14人（福祉・保健・医療関係団体代表者）
	内 容	(1) 第5期区計画 骨子案について (2) 第5期区計画 素案に向けて (3) 今後の策定スケジュールについて

(3) 第5期地域福祉保健計画策定検討部会の開催

第5期旭区地域福祉保健計画の策定のため、地域活動団体や福祉施設、企業へのヒアリングや意見交換等を行い、計画の骨子案を検討した。

第1回	日 程	6月28日（金）
	場 所	区役所新館大会議室
	人 数	14人（検討部会委員）
	内 容	(1) 第5期区計画の策定概要 (2) 第5期区計画に向けた取組について（意見交換）
第2回	日 程	10月17日（木）
	場 所	区役所新館大会議室
	人 数	13人（検討部会委員）
	内 容	(1) 第5期旭区地域福祉保健計画の策定進捗について (2) 第5期区計画に向けた取組について（意見交換）
第3回	日 程	11月21日（木）
	場 所	区役所新館大会議室
	人 数	14人（検討部会委員）
	内 容	(1) 骨子案に対する意見交換について (2) 今後の策定スケジュールについて

(4) 地区別支援チーム 新任研修の開催

目 的	地区別支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的に開催。
日 程	1回目：5月29日（水） 2回目：5月31日（金） ※両日とも同内容
場 所	旭公会堂

人 数	2日間合計 42人(地区別支援チーム新任者等)
内 容	(1)旭区地域福祉保健計画の概要 (2)支援チームの役割・業務、活動事例の紹介 (3)社会福祉協議会の基本的な機能と地区別支援チームでの役割 (4)地域ケアプラザの基本的な機能と地区別支援チームでの役割

(5) 地区別計画の推進

①支援チームによる支援

旭区役所、旭区社協、地域ケアプラザで構成する「地区別支援チーム」として19地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進を支援した。

- ・地区別計画推進会議や部会等の会議の開催支援
- ・地区別計画の取組事業の実施支援
- ・地区別支援チームの進捗確認

②第13回きらっとあさひ福祉大会

地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動の周知と福祉保健への関心を高めるために開催した。

日 程	2月8日(土)
場 所	旭公会堂
人 数	244名(受賞者19名)
主 催	旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所
内 容	【オープニングアクト】 「はっぴオールスターズ」の皆さんによる歌とダンス 【第1部】 1 主催者挨拶 2 令和6年度 旭区社会福祉協議会 社会福祉功労表彰の表彰式典 旭区の社会福祉の増進に功績のあった個人及び団体の方々を表彰しました。 《令和6年度社会福祉功労表彰(内訳)》 地域福祉功労8名・2団体、寄付金品功労4団体、特別功労5名 【第2部】 実践報告～ひとりひとりが自分らしくいられるまち～ 「障害のある方と子どもたちの交流から」 発 表 者 NPO法人横浜市中途障害者地域活動センターフェニックス旭 「工房アリアーレ」所長 田中乃布枝氏、利用者の方 「学生と地域の交流から」 発 表 者 二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会 会長 出井善治氏 コーディネーター 池田誠司氏(横浜市社会福祉協議会企画部担当部長)



表彰式典の様子



実践報告の様子



2 見守り・社会参加・生活支援の場の提供(生活支援体制整備事業)

(市社協委託料・会費収入)302 千円【201 千円】

「見守り・つながり」、「交流・居場所」、「生活支援」の3つの柱を中心に、一人ひとりのできることを大切にしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力できる地域づくりを目指し、各取組を進めた。

今年度は、地域活動団体の活動の意義・目的の再確認や団体間の情報共有を目的とし、連絡会等を実施した。また、本事業の推進役である各地域ケアプラザに配置された2層生活支援コーディネーターの支援等に取り組んだ。

(1) 1層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

区域共通の課題である移動について、都市整備局都市交通課のモデル事業に参画し、タクシー事業者と連携した仕組みづくりやデマンド型交通の仕組みづくりを検討した。さらに、買い物困難者が多いという課題があることから、移動販売事業者との調整を行った。

また、福祉施設が多くあるという特性を活かし、施設分科会と連携して地域貢献活動についての意見交換を継続して実施し、「あさひ支え合いプロジェクト」として立ち上げた。

(2) 2層(地域ケアプラザエリア)生活支援コーディネーターと協働した取組

「ご近助 ほっこり活動」の各地区での展開については、2層生活支援コーディネーターの協力を得て、地区社協や自治会町内会での説明、自治会町内会圏域での見守りマップ作成等により推進した。

活動団体同士のネットワークの構築や情報交換を目的に、2つの連絡会(食事サービス、ちょこっとボランティア)を開催した。また、多様な主体との連携による地域づくりを目指し、地域内にある企業等の情報収集を進めた。

【食事サービス連絡会】

日 程	1 月 30 日 (木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	36 団体 (55 人)
内 容	(1) 活動報告 第1部 市沢よろこびの会、サロン孫子老

	第2部 ボランティア配食グループ虹、白根みらい食堂 (2) 意見交換
--	---------------------------------------

【ちょこっとボランティア連絡会】

日 程	11月6日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	11団体(16人)
内 容	意見交換 活動中に気づいた「困りごと」について、気づきを共有する場について

(3) 2層生活支援コーディネーターへの支援

生活支援コーディネーター同士の情報交換を目的とした連絡会を実施した。また、生活支援コーディネーターの活動状況把握のため、意見交換（ヒアリング）を実施した他、新任者を対象に、疑問点の解消を目的とした相談会を実施した。

【生活支援コーディネーター連絡会】（原則毎月第3木曜日）

日 程	①4月18日 ②5月16日 ③6月20日 ④7月18日 ⑤8月8日 ⑥9月19日 ⑦10月17日 ⑧11月28日 ⑨12月19日 ⑩1月16日 ⑪2月20日 ⑫3月17日
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	16人（13地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーター、1層生活支援コーディネーター、旭区役所地域包括ケア推進担当係長、旭区役所事業企画担当職員）
内 容	(1)旭区役所からの情報提供 (2)区社協からの情報提供 (3)市生活支援体制整備推進会議の報告 (4)生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (5)意見交換（研修振り返り等）

【新任生活支援コーディネーター相談会】

日 程	①4月18日(木) ②5月23日(木) ③6月24日(月) ④7月16日(火) ⑤8月20日(火) ⑥9月24日(火) ⑦10月21日(月) ⑧11月27日(水) ⑨12月16日(木) ⑩1月20日(月) ⑪2月27日(木) ⑫3月28日(金)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	着任1年未満の生活支援コーディネーター等2～5名程度
内 容	質疑応答、意見交換等

(4) 研修会の開催

2層生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の理解を深め、コーディネーターとして必要な知識やスキルを学ぶために研修会を開催した。特に新任コーディネーターには、事業の背景や趣旨、地域に住む高齢者一人ひとりの困りごとへの向きあ

い方や、制度やサービスだけではなく地域でできることについて考える機会となるよう実施した。また、地域アセスメントの必要性や方法の理解し、日常業務において地域アセスメントに取り組むことができるようになることを目的に、地域アセスメント研修を実施した。

No	開催日	内 容	人数
1	6月7日（金）	新任生活支援コーディネーター勉強会 （左近山地域ケアプラザ）	1
2	7月26日（金）	地域アセスメント研修① 講師：田園調布学園大学 准教授 小平隆雄氏 （全地域ケアプラザ生活支援コーディネーター、地域活動交流 コーディネーター、区職員、区社協職員対象）	21
3	8月30日（金）	新任生活支援コーディネーター勉強会 （笹野台地域ケアプラザ）	1
4	12月10日（火）	地域アセスメント研修② 講師：田園調布学園大学 准教授 小平隆雄氏 （全地域ケアプラザ生活支援コーディネーター、地域活動交流 コーディネーター、区職員、区社協職員対象）	21

（5）その他

各2層生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談と助言、情報提供を行った。また、地域の福祉保健活動団体の活動状況を把握し、地域住民向けに公開しているヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの情報を更新した。

3 孤立防止や社会とのつながりづくり(つながり食支援事業等)

（1）つながり食料支援事業の実施

区内農家や、八百屋から野菜の提供を受け、生活にお困りの世帯等への「食」を通じた生活支援「孤立させない！『つながり食料支援事業』」（略称：つな食）を民生委員・児童委員と連携を密にして支援を継続した。（支援件数：11世帯）

（2）地区社協、地区民児協との連携

生活にお困りの方や地域から孤立しがちな方々を対象にした、地区で行われる相談会に協力し、対象者と地域とのつながりづくりを進めた。

（3）ひとり親家庭応援 Day の開催

JA 横浜メルカートつおか出荷者有志による野菜の提供、ユーコープ横浜中1エリア会によるスタディドライブ（文房具寄付）を受けて、主任児童委員と企画調整し、ひとり親家庭応援 Day を実施した。当日運営には、旭区更生保護女性会、ボランティアセンター個人登録者の協力を得た。

第1回	日 程	7月6日（土）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協、JA 横浜（協力）
	人 数	16組 24名
	内 容	①無料お茶コーナー ②プチ工作コーナー ③旭区産野菜、日用品等の無料頒布 ④各種相談機関チラシの配布
第2回	日 程	12月14日（土）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協 JA 横浜、ユーコープ横浜中1エリア会、旭区更生保護女性会（協力）
	人 数	19組 29名
	内 容	①無料お茶コーナー ②プチ工作コーナー ③旭区産野菜、日用品等の無料頒布 ④各種相談機関チラシの配布



JA横浜からの旭区産野菜



プチ工作コーナー

4 地域で子どもを育てる支援

子ども食堂（地域食堂）、学習支援、フリースペース等の子どもの居場所事業を実施する団体のネットワークづくりを進めるため、居場所連絡会を開催した。今年度はお互いを知り団体同士をつなぎ、広く区民にも周知を進めるため、マップを作成した。

（1）子どもの居場所連絡会の開催

第1回	日 程	7月30日（火）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	参加者	子どもの居場所づくりグループ 17団体 22人 こども青少年局地域子育て支援課 1人 区子ども家庭支援課 3人 児童家庭支援センター 3人
	内 容	(1)ひとり親家庭応援Day報告 (2)居場所マップについて意見交換 (3)各居場所へ参加している子・大人について意見交換 (4)子どもの居場所に関する助成金について
	内 容	
第2回	日 程	2月13日（木）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	参加者	子どもの居場所づくりグループ 15団体 19人 区こども家庭支援課 2人

		区生活支援課 2人 児童家庭支援センター 1人 地域ケアプラザ 2人
	内 容	(1)旭区生活支援課より (2)居場所マップ「おいであそぼうあさひ子どもの居場所」完成報告 (3)区社協助成金の案内 (4)区内パントリー団体からの取組報告 (5)意見交換

(2) <区域>子育て関係会議および学習会等への参加

【旭区子育て支援連絡会】

連絡会および運営委員会に参加し、研修会等を行った。

第1回	日 程	6月18日(火)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)旭区の母子保健の状況について (2)エリア別子育て支援関係者の連携について (3)令和6年度の連絡会日程と学習会テーマについて
第2回	日 程	2月20日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)令和6年度活動の振り返り (2)活動事例報告 (3)グループワーク「居場所～子育て支援の活動を発展させるためのネットワーク」 (4)令和7年度子育て支援連絡会の活動予定

【旭区児童虐待・DV防止連絡会】

第1回	日 程	6月24日(月)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)旭区の概要・子育てを取り巻く状況について (2)事例検討(貧困が背景にある家庭への支援)
第2回	日 程	11月15日(金)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	内 容	(1)研修「広がろう つながろう 重なり合う支援の輪」 講師：明星学院大学 尋問学部福祉実践学科 常勤教授 川松 亮氏 (2)「(子育て中の) 困窮世帯向け情報いろいろ」について

(3) <地区域>子ども支援関係会議等への参加

地区ごとの子ども支援に関する情報交換会や連絡会、子育て支援拠点ひなたぼっこのエリア別会議などに参加し、活動の立上げや継続支援を行った。

5 重層的な支援体制に向けたネットワークづくり

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと地区支援やお互いの事業等実施にあたり打ち合わせ等を行い、連携を深めた。

(1) 地域ケアプラザ所長会への参加

日 程	① 4月17日(水)②6月19日(水)③8月21日(水)④10月16日(水) ⑤12月18日(水)⑥2月19日(水)
場 所	旭区役所会部会議室
参加者	13 地域ケアプラザ所長、旭区役所関係各課、区社協
内 容	(1)旭区役所、区社協からの連絡 (2)各テーマでの意見交換 等

(2) 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催支援(原則 毎月第4木曜日)

連絡会の議題、研修会の内容を検討するため事務局会議から参加し、連絡会の運営支援を行った。

日 程	(1)連絡会の事務局会議 ①4月9日(火)②5月14日(火)③6月6日(木)④7月9日(火) ⑤8月5日(月)⑥9月22日(金)⑦10月11日(金)⑧11月8日(金) ⑨12月3日(火)⑩1月6日(月)⑪2月4日(火)⑫3月21日(金) (2)連絡会(原則 毎月第4木曜日) ①4月25日②5月23日③6月27日④7月25日⑤8月22日⑥9月26日 ⑦10月24日⑧11月28日⑨12月26日⑩1月23日⑪2月28日⑫3月27日 (3)研修会 12月24日(火)
場 所	(1) 鶴ヶ峰地域ケアプラザ (2) 鶴ヶ峰地域ケアプラザ、二俣川地域ケアプラザ (3) 旭区福祉保健活動拠点
人 数	(1) 8人(地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター5名、旭区役所事業企画担当、区社協) (2) 17人(13 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、旭区役所事業企画担当、区社協) (3) 11人(8 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、旭区役所こども家庭支援課、区社協)
内 容	(1) 連絡会の議題、研修会の内容、今後のスケジュール等の検討 (2) ①旭区役所、区社協からの連絡事項 ②各部会報告 ③関係機関との情報交換会(旭区担当スクールソーシャルワーカー)④勉強会(福祉教育、学校と地域ケアプラザとの連携、子ども支援について) (3) テーマ:子育て世帯と地域が関わるきっかけをどうつくるか 講 師:横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授 三輪律江氏

(3) 旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	① 6 月 27 日 (木) ② 11 月 28 日 (木)
内 容	(1) 旭区役所、区社協、在宅医療相談室からの連絡 (2) 三職種分科会、地域包括研修会報告 (3) 各種研修 6 月 27 日介護予防支援について 11 月 28 日相談実績報告の活用について

(4) 旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	① 5 月 10 日(金) ② 7 月 12 日(金) ③ 9 月 13 日(金) ④ 11 月 8 日(金) ⑤ 3 月 14 日(金)
内 容	(1) 旭区役所、区社協からの連絡 (2) 各委員会からの報告等

(5) 地域ケアプラザ運営協議会への参加

- 上白根地域ケアプラザ：1 回 7 月 26 日 (金)
- 左近山地域ケアプラザ：2 回 5 月 8 日 (水)、3 月 12 日 (水)
- 川井地域ケアプラザ：2 回 6 月 25 日 (火)、3 月 11 日 (火)
- 鶴ヶ峰地域ケアプラザ：2 回 6 月 18 日 (火)、2 月 17 日 (月)
- ひかりが丘地域ケアプラザ：2 回 5 月 22 日 (木)、3 月 5 日 (水)
- 南希望が丘地域ケアプラザ：2 回 6 月 27 日 (木)、3 月 27 日 (木)
- 今宿西地域ケアプラザ：2 回 10 月 23 日 (水)、3 月 10 日 (月)
- 笹野台地域ケアプラザ：2 回 9 月 6 日 (金)、2 月 14 日 (金)
- 白根地域ケアプラザ：2 回 5 月 30 日 (木)、2 月 28 日 (金)
- 二俣川地域ケアプラザ：1 回 2 月 26 日 (水)
- 若葉台地域ケアプラザ：3 回 6 月 24 日 (月) 11 月 18 日 (月)、3 月 書面開催

(6) 地域ケア会議等の参加

区域や各地域ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を通して、地域ケアプラザや旭区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との情報共有を図った。

- ① 区域で開催された地域ケア会議への参加：1 回
- ② 各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加：5 地域ケアプラザ、8 回
- ③ 地域ケアプラザ・旭区役所との巡回相談への参加：4 地域ケアプラザ、14 回

<基本目標Ⅲ> 地域福祉保健の取組が広がる仕掛けづくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿③ 「ひとりひとりが、自分らしくいられるまち」

《一人ひとりの福祉意識の醸成》

1 福祉教育の推進

地域共生社会の実現に向けて、様々な世代が福祉への意識を高められるよう関係機関および当事者団体との協働により、福祉教育に取り組んだ。(P46 参照)

(1) 福祉教育への相談対応

種別	依頼 件数 (件)	対応 件数 (件)	コマ数 (日)	調整数 (回)	延べ 参加者数 (人)	内容
小学校	11	11	22	332	1,016	視覚障害理解 ボッチャ交流 等
中学校	0	0	0	0	0	
高校	2	2	2	14	230	ボランティアについて 区社協について
その他	0	0	0	0	0	
合計	13	13	24	346	1,246	

《協力団体（順不同・敬称略）》

横浜市聴覚障害者協会、View-Net 神奈川、工房アリアーレ、活動ホームあさひ、活動ホームふたまたがわ、サポートセンター連、地域ケアプラザ 等

(2) 旭区地域自立支援協議会への協力

『あっぱれフェスタ』の後援を通し、障害児者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携し、その実現を目指した。

2 寄付文化の醸成(善意銀行の運営)

区民・団体・企業等からの寄付（金品・物品）を受け付けた。配分にあたっては、ボランティアセンター運営委員会に諮り、配分を行った。

ちらしを作成。配布仕組みや活用先を案内し、周知に努めた。

※金品寄付者については P47 参照。

【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数	寄付額(円)	配分額(円)	戻入額(円)	配分残(円)
20,948,129	27	610,850	3,386,447	42,191	18,214,723

【寄付金の配分】

	使 途	件 数	金 額 (円)	配 分 先
1	旭区社協独自助成金（地域の見守り 支えあい助成金）	11	310,000	ふれあい・交流活動（サロン等を通じた社会的孤立予防を目的とした活動）、高齢者や障害者世帯等への見守り活動を行う団体
2	ふれあい助成金事業費	46	2,789,200	地域での訪問活動や見守り活動を実施する団体
3	備品購入	3	161,000	高齢者昼食会、登下校見守り活動、配食
4	各種助成金事業費	—	9,002	ボランティア備品購入、子ども未来助成金、地域の見守り支えあい
5	つながり食料支援事業費	—	62,674	孤立や孤独による不安から民生委員の訪問を希望する方
6	ひとり親家庭応援Day 事業費	—	54,571	ひとり親家庭等と地域住民とのつながりづくりを目的。野菜を無料頒布。

【物品の受入】

寄付件数 16 件 ※物品寄付者については P48 参照。

3 広報・啓発

（共同募金） 1,922 千円【2,659 千円】

広く区民に向けて、地域共生社会の理解と関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

（1）「あさひいき宣言（旭区社協だより）」の作成・発行

年 3 回 タウンニュース紙面による発行

第 116 号（8 月発行）

特集：生活のちょっとした困りごとを助けるボランティア特集～支え、支えられ～
第 117 号（11 月発行）

特集：あなたの気づきが、誰かの助けに 旭区ご近助ほっこり活動
第 118 号（3 月発行）

特集：地域で見守り、支える「子どもの育ち」



第 116 号



第 117 号



第 118 号

(2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、最新情報を発信した。

ホームページ更新回数：19 回

アクセス数：36,494 件



旭区社協ホームページ

(3) 公式 X (旧 Twitter)・Youtube チャンネルの運営

インターネット媒体による情報発信を実施した。

X (旧 Twitter) 投稿数：78 件

(4) ロゴマークの活用

「地域共生社会の実現」をテーマとして引き続き掲げ、広く関係団体や区民に啓発した。



< 基本目標Ⅳ > 区社協組織・活動基盤の整備

《法人・経営部門》

1 区社協基盤整備

(1) 正会員会員数 施設・団体（入会：1、退会：2）

【会員数】

種別	会員数	種別	会員数
第1種(施設)	78	第6種(ボランティア団体)	44
第2種(民児協)	20	第7種(福祉団体)	24
第3種(地区社協)	19	第8種(行政)	4
第4種(自治会・町内会)	19	第9種(学識)	2
第5種(当事者団体)	31	合計：241	

(2) 賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社協と協働で実施した。

総額：5,136,500 円（19 地区総額・目安額：1 世帯 70 円）

(3) 福祉基金の積立・活用

地域の福祉保健活動の財源を今後も確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。
また、地域福祉活動の助成金の原資として福祉基金の活用を行った。

○基本原資（令和 7 年 3 月 31 日時点）

公共債	20,000,000
定期・定額貯金	16,006,243
普通預金	89,850,000
合計	125,856,243

※普通預金の一部は、公共債購入または定期預金に移し替えを予定

○令和6年度運用収入

福祉基金運用収入	11,290,423
----------	------------

○令和6年度サービス区分間繰入金支出（助成金への活用）

福祉基金繰入金支出	510,000
-----------	---------

- (4) 市民からのご意見、苦情解決への対応
 市民からのご意見 0件 苦情 0件

2 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

【理事会】4回 ※場所はすべて旭区福祉保健活動拠点

第1回	日 程	6月5日(水)
	人 数	7人(定数:11人)、監事2人 計9人出席
	内 容	議 題 (1) 新規会員入会について (2) 処務規程の改正について (3) 旅費規程の改正について (4) 横浜市旭区社会福祉協議会令和5年度事業報告および収入支出決算について (5) 監事候補者の選定について (6) 評議員選任候補者の推薦について (7) 評議員選任・解任委員会委員の選任について (8) 評議員選任・解任委員会の開催について (9) 第1回(定時)評議員会の開催について 報告事項 (1) 令和5年度事業・会計「監事監査」実施について (2) 理事・監事、評議員後任候補推薦状況について
	結 果	議題(1)～(9)承認された。 報告事項(1)(2)了承された。
第2回	日 程	9月6日(金)
	人 数	8人(定数:11人)、監事3人 計11人出席
	内 容	議 題 (1) 令和6年度 旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) きらっとあさひ福祉大会一表彰式典の内容について (3) 旭区社会福祉協議会 第2回評議員会の開催について 報告事項 (1) 旭区社会福祉協議会 会員の退会について (2) 旭区社協会長の職務執行状況報告について
	結 果	議題(1)～(3)承認された。 報告事項(1)(2)了承された。

第3回	日 程	11 月 21 日（木）
	人 数	7 人(定数：11 人)、監事 2 人 計 9 人出席
	内 容	議 題 （１）令和 6 年度 横浜市旭区社会福祉協議会 表彰審査について 報告事項 （１）文書取扱規則の一部改正について （２）赤い羽根共同募金「街頭募金運動」実施報告 （３）資産運用状況について
	結 果	議題（１）承認された。 報告事項（１）～（３）了承された。
第4回	日 程	3 月 13 日（木）
	人 数	10 人(定数：11 人)、監事 3 人 計 13 人出席
	内 容	議 題 （１）令和 6 年度 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算（案）について （２）令和 7 年度 横浜市旭区社会福祉協議会 事業計画（案）並びに収入支出予算（案）について （３）令和 7 年度役員等賠償補償（損害責任保険）の加入内容について （４）第 3 回評議員会の招集について 報告事項 （１）旭区社会福祉協議会 役員等次期候補者推薦状況について （２）旭区社会福祉協議会 福祉基金運用状況について （３）令和 6 年度社会福祉法人指導監査の結果について （４）地区社協活動費 地区交付要綱の制定について （５）あさひ支えあいプロジェクトについて （６）旭区社協会長の職務執行状況報告について
	結 果	議題（１）～（４）承認された。 報告事項（１）～（６）了承された。

【評議員会】 3 回 ※場所はすべて旭区福祉保健活動拠点

第1回	日 程	6 月 26 日（水）
	人 数	評議員 17 人(定数：23 人)、理事(会長) 1 人、監事 1 人
	内 容	議 題 （１）旭区社会福祉協議会 令和 5 年度事業報告および収入支出決算について （２）理事の選任について （３）監事の選任について 報告事項 （１）令和 5 年度事業・会計「監事監査報告」について （２）会員の入会について （３）処務規程の改正について （４）旅費規程の改正について
	結 果	議題（１）～（３）承認された。 報告事項（１）～（４）了承された。

第2回	日 程	9月27日(金)
	人 数	評議員 18 人(定数：23 人)、監事 2 人
	内 容	議 題 (1) 令和6年度 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について 報告事項 (1) きらっとあさひ福祉大会一表彰式典の内容について (2) 文書取扱い規則の改正について (3) 旭区社会福祉協議会 会員の退会について (4) 令和6年度 旭区社協会長の職務執行状況報告について
	結 果	議題(1) 承認された。 報告事項(1)～(4) 了承された。
第3回	日 程	3月25日(火)
	人 数	評議員 13 人(定数：23 人)、理事(会長) 1 人、監事 1 人
	内 容	議 題 (1) 令和6年度 横浜市旭区社会福祉協議会 収入支出補正予算(案)について (2) 令和7年度 横浜市旭区社会福祉協議会 事業計画(案)並びに収入支出予算(案)について 報告事項 (1) 会長の職務執行状況について (2) 旭区社会福祉協議会福祉基金運用状況について (3) 令和6年度社会福祉法人指導監査の結果について (4) 令和7年度役員等賠償補償(損害責任保険)の加入内容について (5) 旭区社会福祉協議会「役員等次期候補者」推薦状況について (6) あさひ支え合いプロジェクトについて
	結 果	議題(1)(2) 承認された。 報告事項(1)～(6) 了承された。

【評議員選任・解任委員会】 1回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

第1回	日 程	6月10日(月)
	人 数	3人(定数：4人)
	内 容	議 題 (1) 評議員の選任について
	結 果	(1) 承認された。

【監事監査会】 1回 ※場所は旭区福祉保健活動拠点

日 程	5月27日(月)
人 数	2人
内 容	(1) 令和5年度の業務監査 (2) 令和5年度の財務監査
結 果	(1)(2) 適正と認められた。

【業者選定委員会】 1 回

第 1 回	日 程	2 月 20 日 (木)
	人 数	委員 3 人
	内 容	(1) 令和 7 年度 旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」清掃業務委託契約について
	結 果	(1) 書面を送付した。

【施設分科会】

社会福祉施設の地域貢献活動の機運を高めるため、「あさひ支え合いプロジェクト」としてネットワーク組織を設置した。事例報告や意見交換を行い、事例集を発行した。

また、マスコットキャラクターとして「地域貢犬（ちいきこうけん）“サンサン”」を PR に活用した。

「あさひ支え合いプロジェクト」
リーフレット(事例集)



第 1 回	日 程	7 月 16 日 (火)
	人 数	18 施設 19 人
	内 容	(1) 説明 旭区社協における施設分科会の位置づけについて (2) 事例報告「泉サポートプロジェクトについて」 報告：泉サポートプロジェクト 会長 鈴木啓正氏 横浜市下和泉地域ケアプラザ 所長 梶山辰吉氏 泉区社会福祉協議会 事務局次長 松宮透氏、丸山永夏氏 (3) 区内の取組紹介 (4) 意見交換 ①福祉施設が地域ニーズに対してできること、取り組みたいこと ②社協に期待すること
	結 果	(1)(3)説明した。(2)報告いただいた。(4)意見交換を行った。
第 2 回	日 程	1 月 24 日 (金)
	人 数	11 施設 12 人
	内 容	(1) 次期分科会長・副分科会長の選出について (2) 次期区社協理事・評議員候補者の推薦について (3) 施設の地域貢献について ①地域貢献の取組に関するネーミング・啓発物品について ②地域貢献活動に関するアンケートの実施について ③事例集の発行について ④事例報告 ア ひかりが丘健康応援フェスタ

		報告：横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ 生活支援コーディネーター 松村宏一氏 生活介護事業所 偕恵シグナル 施設長 多田葉子氏 特別養護老人ホームサンライズヒル横浜 通所介護 生活相談員 主任 加藤準氏 介護老人保健施設ケアホーム横浜 理学療法士 前田真理氏 イ 川井地区地域食堂 報告：特別養護老人ホームあだちホーム 施設長 菅原泰洋氏 ⑤意見交換
	結 果	(1)以下の通り選出された。 分科会長：西山宏二郎氏（特別養護老人ホーム弥生苑 施設長） 副分科会長：通木光男氏（ちとせ保育園 園長） 菅野善也氏（地域生活センター和 センター長） (2)以下の通り選出された。 理事候補者：西山宏二郎氏（特別養護老人ホーム弥生苑 施設長） 評議員候補者：通木光男氏（ちとせ保育園 園長） 菅野善也氏（地域生活センター和 センター長） (3)①～③説明した。④報告いただいた。⑤意見交換を行った。

【民生委員児童委員分科会】

会長会及び正副会長、監事、主任児童委員代表が参加する企画委員会に事務局次長、1層生活支援コーディネーターが参加し、事業について企画段階から参加した。

（区民生委員児童委員協議会会長会は事務局長と1層生活支援コーディネーターが出席）
また、区民生委員児童委員協議会主催研修の企画・運営に協力した。

第1回	日 程	4月12日（金）
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)「つながり食料支援事業」の利用状況について
	結 果	(1)説明した。
第2回	日 程	5月9日（木）
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	40人
	内 容	(1)令和6年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について (2)移動情報センターあさひ 推進会議委員について
	結 果	(1)(2)説明した。
第3回	日 程	6月11日（火）
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)第13回きらっとあさひ福祉大会について (2)令和6年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について

		(3)ひとり親家庭応援 Day について (4)令和6年度 地域出前講座一覧について (5)令和6年度 日赤災害・救急法講習の開催について
	結 果	(1)～(5)説明した。
第 4 回	日 程	7月12日(金)
	場 所	旭公会堂 1号・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和6年度旭区見守り活動推進研修会について
	結 果	(1)説明した。
第 5 回	日 程	9月12日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和6年度赤い羽根共同募金(街頭募金)の実施について (2)ひとり親家庭応援 Day の来場者の情報提供について (3)令和5年度「生活福祉資金借受世帯支援記録票 整備状況報告」について
	結 果	(1)～(3)説明した。
第 6 回	日 程	10月10日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和6年度赤い羽根街頭募金の結果報告について (2)ひとり親家庭応援 Day について
	結 果	(1)(2)説明した。
第 7 回	日 程	11月14日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和6年度赤い羽根共同募金の振り返りについて (2)「ボランティアセンターニュース」(令和6年10月号)の発行について
	結 果	(1)(2)説明した。
第 8 回	日 程	12月12日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和6年度民生委員活動費(生活福祉資金)の交付について
	結 果	(1)説明した。
第 9 回	日 程	2月13日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)ひとり親家庭応援 Day への来場者の情報提供について (2)第9回よこはま地域福祉フォーラム DVD の貸出について

	結 果	(1)(2)説明した。
第 10 回	日 程	3月13日(木)
	場 所	旭区役所新館大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)旭区社会福祉協議会理事・評議員会及び各種委員会委員並びに保護司候補者 検討協議会委員の候補者の推薦について (2)「あさひ支え合いプロジェクト」リーフレットの送付について (3)「おいで あそぼう あさひ子どもの居場所」の送付について
	結 果	(1)現任者が継続して推薦された。 (2)(3)説明した。

【地区社会福祉協議会分科会】

地区社協活動に関する連絡事項の他、グループワーク等を通して各地区の取組状況について意見交換・情報交換を行った。

第 1 回	日 程	5月28日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19地区34人
	内 容	1 議題・事務連絡等 (1)働き・子育て世代に対する情報発信の調査結果について (2)本会評議員候補者の推薦について (3)旭区社協移動情報センターあさひ「推進会議」委員の報告について (4)令和6年度 旭区社協 地域出前講座について (5)令和6年度 赤い羽根共同募金について (6)社会福祉施設と地域との連携について(施設分科会 報告) (7)令和6年度 地区社協活動費、状況書等の提出について (8)第5期横浜市地域福祉保健計画 冊子・概要版の配付について (9)令和6年度 日赤災害・救急法講習の開催について(ご案内) (10)各地区広報紙の配付について 2 研修会 テーマ：地区社協の役割と主な活動について 区社協職員より新任地区社協役員向けに、地区社協の成り立ち、体制、役割、財源、主な活動について説明をした。
	日 程	7月25日(木)
第 2 回	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19地区31名
	内 容	1 議題・事務連絡等 (1)旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰候補者の推薦について (2)ウィリング横浜主催研修『地域づくりに生かせる組織運営を学ぶ』の参加者について (3)令和6年度見守り活動推進研修会の開催について

		(4) 旭区社会福祉協議会事業報告について (5) 令和6年度 助成金決定団体一覧について (6) 地区社協活動費（5万円・市社協）の申請事業について (7) 地区社協分科会1月の開催日変更について (8) 第13回きらっとあさひ福祉大会 開催日時について（共有） (9) 各地区広報紙の配付について 2 研修会 テーマ：地区社協活動（話し合いの場づくり）について 泉区富士見が丘地区社協の事例と横浜創英大学平野先生の「話し合いの場の意義」講義についてDVD視聴した後、グループに分かれて話し合いの場の振り返りを行った。
第3回	日 程	10月15日（火）
	場 所	旭公会堂 講堂
	人 数	149名
	内 容	見守り活動推進研修会を地区社協分科会第3回目と位置づけ開催した。 講演テーマ (1) 見守り活動における情報共有の必要性について (2) 見守り対象者の個人情報の取扱いについて 講 師：田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授 村井 祐一氏
第4回	日 程	11月26日（火）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19地区29名、研修講師1名
	内 容	1 議題・事務連絡等 (1) 共同募金街頭募金の振り返りについて（報告） (2) 地区社協活動費（市社協）の申請事業の実施状況について（共有） (3) 『地域づくりに生かせる組織運営を学ぶ』の研修報告について (4) 第12回きらっとあさひ福祉大会について (5) 旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰者の決定について（報告） (6) ひとり親応援Dayへの食品寄付のご報告について（報告） (7) 令和6年度 旭区子育て支援連絡会学習会開催のお知らせ（共有） (8) 各地区広報紙の配付について 2 研修会 テーマ：見守り活動の情報共有の工夫について (1) 報告事例：キャッツハンズクラブ、地区社協、地区民児協の 3者による合同勉強会や合同会議について 報告者：市沢地区 キャッツハンズクラブ 発起人・監査役 池田 和義氏 (2) 取組報告事例を聞いて講師による講話 講 師：田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授 村井 祐一氏

第 5 回	日 程	1月29日（水）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	18地区31人
	内 容	1 議題・事務連絡等 （１）次年度 地区社協分科会 開催日程について （２）地区社協活動費・ご近助ほっこり活動取組助成の活用事例について （３）各地区広報紙の配付について 2 研修会 テーマ：各地区社協の今後の見守り活動取組目標について 各地区の見守り活動取組目標をもとに以下の４テーマに分かれて意見交換をした。 ・話合いの場づくり（情報共有、見守り方法の検討） ・地域活動団体との連携（横つながり・情報交換の場づくり） ・見守りの場を増やす、維持する、発展させる ・見守りの意識啓発・きっかけづくり 各地区の活動取組目標に対して見守り活動研修講師よりアドバイスをいただいた。 アドバイザー：田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授 村井 祐一氏
第 6 回	日 程	3月19日（水）
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	18地区28人
	内 容	1 議題・事務連絡等 （１）旭区社協の理事候補者・評議員候補者・各委員会委員の選出について （２）旭区社会福祉協議会賛助会費について（依頼） （３）次年度 旭区社協 助成金・補助金について （４）地区社協活動費について、申請・精算書の作成について （５）令和6年度地区社協振り返りヒアリングについて （６）第13回きらっとあさひ福祉大会 開催報告について （７）令和7年度地区社協分科会 年間開催予定表について （８）おいで あそぼう あさひ子どもの居場所マップの配付について （９）社会福祉施設による地域貢献活動紹介リーフレットの配付について （１０）ボランティアセンターニュースの配付について （１１）令和6年度ジュニアボランティア体験感想文集の配付について （１２）希望が丘南地区 居場所マップの配付について （１３）各地区広報紙の配付について



見守り活動推進研修会(第1回目)の講演様子



見守り活動推進研修会(第3回目)の様子

【地域組織分科会】

会議に出席し、各地区連合会長との連携を深めた。（区連合町内会自治会連絡会定例会への事務局長が出席）

第1回	日 程	4月18日(木)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1) 令和6年度日本赤十字社会費募集について(依頼) (2) 令和5年度日本赤十字社会費募集結果報告について(情報提供) (3) 令和6年度日本赤十字社会員増強運動(会費募集)の納入について(依頼) (4) 令和6年度旭区更生保護協会会費の納入について(依頼) (5) 広報紙「保護司会だより旭第42号」の配布について(依頼) (6) 広報紙「更女だよりあさひ第11号」の発行について(情報提供)
	結 果	(1)～(6) 承認された。
第2回	日 程	5月17日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1) 第12回きらっとあさひ福祉大会の開催日程について(情報提供) (2) 令和6年度日赤災害・救急法講習の開催について(依頼)
	結 果	(1)(2) 承認された。
第3回	日 程	6月18日(火)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1) 令和6年度共同募金運動資材調査について(依頼) (2) 第74回“社会を明るくする運動”実施に伴うポスター掲示について(依頼)
	結 果	(1)(2) 承認された。
第4回	日 程	7月18日(木)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1) 令和6年度旭区見守り活動推進研修会の開催について(情報提供)
	結 果	(1) 承認された。
第5回	日 程	9月18日(水)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1) 令和6年度共同募金運動へのご協力について(依頼)
	結 果	(1) 承認された。
第6回	日 程	10月18日(金)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19人

	内 容	(1) 広報紙「保護司会だより旭第 43 号」の配布について (依頼)
	結 果	(1) 承認された。
第 7 回	日 程	11 月 15 日 (金)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19 人
	内 容	依頼及び説明事項なし。
第 8 回	日 程	1 月 17 日 (金)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19 人
	内 容	依頼及び説明事項なし。
第 9 回	日 程	2 月 18 日 (火)
	場 所	旭区役所 新館大会議室
	人 数	19 人
	内 容	(1) 令和 7 度共同募金運動への協力依頼について (依頼) (2) 令和 7 年度日本赤十字社会員増強運動 (会費募集) にかかる資材調査について (依頼) (3) 令和 6 年度社会福祉協議会賛助会費募集のお礼及び令和 7 年度の募集協力について (依頼)
	結 果	(1)～(3) 承認された。
第 10 回	日 程	3 月 17 日 (月)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19 人
	内 容	(1) 「あさひ支えあいプロジェクト」について (情報提供) (2) 第 13 回きらっとあさひ福祉大会 実施報告について (情報提供)
	結 果	(1) (2) 承認された。

【第 5・6・7 種合同分科会】

福祉団体同士の顔の見える関係について考え直すきっかけとして、会員研修としての合同分科会を開催した。研修後、部屋を分けて各分科会を開催した。

第 1 回	日 程	12 月 3 日 (火)
	場 所	ぱれっと旭 多目的研修室
	人 数	45 団体
	内 容	「旭区で共に支えられて生きていく～能登支援の現場報告から～」 活動報告：社会福祉法人白根学園 学園長・常務理事 飯山文子氏 社会福祉法人白根学園 障害福祉サービス事業所風の丘 主任 原田光司氏 本会 事務局次長 村瀬大亮

【障害者団体等当事者団体分科会】

第 1 回	日 程	12月3日(火)
	場 所	ぱれっと旭 多目的研修室
	人 数	4人
	内 容	(1)障害者団体等当事者団体分科会 次期会長・副会長の選任について (2)本会理事・評議員候補者の選任について (3)意見交換
	結 果	(1)(2)承認された。(3)情報交換を行った。

3 社会福祉功労表彰

長年にわたり、旭区において地域福祉の推進に携わってこられた個人・団体の功績をたたえ、地域福祉の一層の充実を図るため、令和6年度旭区社会福祉協議会社会福祉功労表彰を実施した。

(敬称略)

《地域福祉功労(8個人2団体)》

石川良幸、菅原正治、後藤節子、保泉ゆみ子、鵜飼明夫、島原幸雄、大竹吉野、市沢おやじの会、ぽろろん座、高橋邦子

《寄付金品功労(4団体)》

株式会社 清光社、都岡町内会チャリティもちつき大会、神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部、横浜旭ジャズまつり実行委員会

《特別功労(5名)》

大亦尚、合原吉信、田中孝明、高倉則幸、佐川三男

受賞者へは表彰状と障害者地域作業所製品の詰め合わせを記念品として贈呈した。

4 災害時における支援体制の構築

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「旭区災害ボランティア連絡会」役員会や、各訓練等に参加し、情報共有及び活動支援を行った。

また、ICTの活用を目指し、災害ボランティアセンター運営をはじめとした災害時に活用する情報共有システム等の運用を検討した。

5 コンプライアンスの推進、人材育成

(1) コンプライアンスの推進

コンプライアンスの推進のため、区社協内部で発生した事件・事故、事務ミスやヒヤリハットを職員会議や朝礼等にて共有し、再発防止策を検討共有した。また、市社協全体の事故報告事例を区社協内でも共有し、事故防止に努めた。

ヒヤリハット件数 17 件 事故件数 4 件

(2) 地域福祉関連団体との連携

区社会福祉協議会の後援名義申請のあった各団体活動に対し、名義の使用を承認した。(8件)

	項目	事業名	主催者名	内容
1	後援	全建総連 神奈川土建 第47回住宅デー	神奈川土建 一般労働組合 横浜西支部	期日：6月16日(日) 場所：中希望が丘くすのき公園 神奈川土建横浜西支部 内容：住宅相談、チャリティー活動(包丁研ぎ、まな板削り)
2	後援	'24 横浜旭ジャズ まつり YOKOHAMA SWING EMOTION VOL. 33	旭ジャズまつり 実行委員会	期日：8月25日(日) 場所：こども自然公園野球場 内容：野外ジャズイベント
3	後援	知的障害者 ガイドヘルパー 研修	一般社団法人 あおぼの虹	期日：11月3日(日)～4日(月) 場所：ぱれっと旭 内容：ガイドヘルパー育成研修
4	後援	第24回希望が丘 南地区クリーン 活動	希望が丘南地区 社会福祉協議会	期日：12月1日(日) 場所：善部小学校校庭及び希望が丘南 地区周辺 内容：美化・清潔保持イベント
5	後援	K.K ネットまつり	希望が丘南 地区子育て応援 ネットの会 (K.K ネットの会)	期日：12月8日(日) 場所：希望が丘地区センター 内容：世代交流クリスマス会
6	後援	第11回あっぱれ フェスタ	旭区地域自立 支援協議会	期日：1月25日(土) 場所：旭公会堂 内容：障害理解・啓発イベント
7	後援	知的障害者 ガイドヘルパー 研修	一般社団法人 あおぼの虹	期日：2月15日(土)～16日(日) 場所：ぱれっと旭 内容：ガイドヘルパー育成研修
8	後援	第35回旭区舞踏 協会チャリティ 発表会	旭区舞踏協会	期日：5月10日(土) 場所：旭公会堂 内容：障害理解・啓発イベント

6 団体事務

(1) 神奈川県共同募金会旭区支会

一般募金・年末たすけあい募金募集において、17,024,766円ものご協力をいただいた。お預かりした募金は神奈川県共同募金会に全額送金した。旭区内ではボランティア活動や地域活動の運営費に活用する。

(2) 日本赤十字社神奈川県支部 横浜市地区本部 旭区地区委員会

日赤会費募集には、10,900,544円ものご協力をいただいた。お預かりした会費は、日赤神奈川県支部に全額送金した。また、区内での火災等に対する見舞金等を支出した。

(3) 旭保護司会

犯罪や非行をした人に対する更生活動を通して地域社会の理解を深め、犯罪や非行を未然に防ぐ活動を進める保護司活動を支援した。

(4) 旭区更生保護女性会

女性の立場から犯罪や非行を未然に予防し、明るい社会づくりを進める更生保護活動を支援した。

(5) 旭区更生保護協会

更生保護活動を行う団体への活動費助成及び、犯罪や非行のない街づくりを目指す「旭区社会を明るくする運動」等の実施のため募集した会費は703,827円になった。

また、社会を明るくする運動は7月19日（金）に鶴ヶ峰、二俣川、希望ヶ丘の3駅で啓発を実施。

令和6年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): 8,623,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	さえずり	集いの場活動	400,000
2	いきいき	集いの場活動	400,000
3	子育て応援サークル スタイルきっず	集いの場活動	400,000
4	サロンあさひ	集いの場活動	180,000
5	えくぼ	集いの場活動	120,000
6	フリーハウス川井「わいが家」	集いの場活動	120,000
7	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
8	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
9	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
10	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
11	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
12	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
13	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
14	ほほえみ会	集いの場活動	80,000
15	旭北第一ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
16	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
17	旭中央つぶらの会	集いの場活動	80,000
18	みなまきよこ連「お休み処」	集いの場活動	80,000
19	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
20	ワンコインカフェ吹上の会	集いの場活動	80,000
21	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
22	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	50,000
23	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
24	若葉台北自治会高齢者見守り活動「サロン若北」	集いの場活動	80,000
25	希望が丘松の会	集いの場活動	80,000
26	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
27	サロンふるさと	集いの場活動	80,000
28	希望が丘・希望が丘南地区子育て応援ネットの会(K.K.ネットの会)	集いの場活動	80,000
29	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
30	親子サロン	集いの場活動	40,000
31	A2ライン	集いの場活動	60,000
32	お茶べりサロン さんさん	集いの場活動	80,000
33	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
34	旭南部地区子育て地域サロンMaMa♡Kids	集いの場活動	60,000
35	旭南部地区お茶のみ地域サロン ほっと	集いの場活動	50,000
36	子育てサロン ぽっかぽか	集いの場活動	40,000
37	みんきちcafé	集いの場活動	40,000
38	桐が作ほっと	集いの場活動	35,000

39	スマイルカフェ	集いの場活動	80,000
40	はなみずきの会	集いの場活動	80,000
41	ふらっとカフェさくら	集いの場活動	80,000
42	らんらん食堂	集いの場活動	80,000
43	サロン孫子老	集いの場活動	180,000
44	みんなの集いの場	集いの場活動	80,000
45	コミュニティカフェ「しおんカフェ」	集いの場活動	180,000
46	若葉台東ふれあいサロン	集いの場活動	180,000
47	ホームタウンみなみ Minnade	集いの場活動	80,000
48	第3鶴の会	集いの場活動	80,000
49	第一鶴の会	集いの場活動	80,000
50	ホッと・ミュージック	集いの場活動	50,000
51	サロン親睦	集いの場活動	80,000
52	地域食堂 まちあわせ	集いの場活動	40,000
53	唄う会	集いの場活動	80,000
54	みんなの食卓 Kitchen あんぶれら	集いの場活動	80,000
55	左近山小高団地自治会囲碁クラブ	集いの場活動	80,000
56	ちょこつと応援団	家事・生活支援活動	160,000
57	旭ふれあいコール	家事・生活支援活動	130,000
58	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	80,000
59	ちょこつとボランティアかわい	家事・生活支援活動	80,000
60	リトルサービス	家事・生活支援活動	38,000
61	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	50,000
62	しらね相友さくら会	家事・生活支援活動	80,000
63	若葉台もみじふれあいおたすけ隊	家事・生活支援活動	50,000
64	きぼうの手	家事・生活支援活動	160,000
65	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
66	おべんとう ひよどり	配食活動	300,000
67	わかたけの会	配食活動	160,000
68	宅配ほほえみ	配食活動	160,000
69	お元気会	配食活動	80,000
70	つづきの会	配食活動	80,000
71	特定非営利活動法人 あさひ	送迎活動	350,000
72	特定非営利活動法人 たちばな福祉会	送迎活動	300,000
73	NPO法人いっぱい若葉台事業所 のこのこの会	送迎活動	350,000
74	特定非営利活動法人 オールさこんやま	送迎活動	250,000

【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): 1,030,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ハーモニカクラブあすなろ	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
2	なかよし支援グループ	障害児者支援活動・当事者活動	120,000
3	特定非営利活動法人 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	300,000
4	失語症 旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
5	BUMDDY F.C	障害児者支援活動・当事者活動	70,000
6	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	120,000
7	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	70,000
8	Blue lace〜ブルーレース〜	障害児者支援活動・当事者活動	80,000
9	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	30,000
10	さらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
11	特定非営利活動法人 横浜マック	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
12	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000

【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円): 750,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	男の元気食堂	⑧地域住民交流	40,000
2	旭区ひまわりの会	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
3	なかおバタフライガーデンの会	⑨自然環境活動	40,000
4	カフェボラふたまたがわ	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
5	親子グループ遊	⑫子育て支援事業	40,000
6	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
7	日本語ボランティア「虹の会」	③外国人支援	40,000
8	ぱれっと旭おもちゃ病院	④おもちゃドクター	40,000
9	つながりの丘	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
10	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	②セルフヘルプグループ	40,000
11	コーヒーボランティア ペリゴール	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
12	表現のチカラ	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
13	JUMP★UP-KIDS	⑫子育て支援事業	40,000
14	笹野台地区ささえあい連絡会Aグループ	⑩福祉情報誌	40,000
15	8棟助け合い(樹木・花壇ボランティア)	⑨自然環境活動	40,000
16	ポレポレ	⑬施設・病院支援ボランティア	30,000
17	棋楽会	⑧地域住民交流	40,000
18	旭の会	⑧地域住民交流	40,000
19	めぐり芽ぐむば つなぐ	②セルフヘルプグループ	40,000

【あさひふれあい助成金 健康増進区分】

総額(円): 30,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	にこにこペタンク	高齢者	10,000
2	わくわくストレッチ会	高齢者	10,000
3	希望が丘中学校PTAコーラス同好会	高齢者	10,000

【旭区社協独自助成金 ボランティア活動備品購入】

総額(円): 161,000

	団体名	購入物品	助成額(円)
1	萌ぎ会	食器	50,000
2	児童見守り安全ボランティア会	キャップ	50,000
3	ボランティア配食グループ虹	プリンター	61,000

【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): 310,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	スノードロップ	サロン	30,000
2	どんぐりの輪	読書会	30,000
3	さくらカフェ	サロン	30,000
4	和&輪	サロン	30,000
5	ミーミの部屋	サロン	30,000
6	すいーとびー	サロン	30,000
7	認知症カフェ ブルーローズ	認知症カフェ	30,000
8	市沢地区民生委員児童委員協議会	個別訪問・安否確認	30,000
9	あさひの向日葵	介護者の集い	30,000
10	ガーデンテラス白根台自治会 移動販売 お休み処	サロン	30,000
11	ペタンクすみれ	ペタンク	10,000

【旭区社協独自助成金 子どもの未来応援】

総額(円): 510,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	らんらん食堂食堂	多世代食堂	60,000
2	若葉台子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」	子ども食堂	50,000
3	白根みらい食堂	多世代食堂	60,000
4	ホームタウンみなみMinnade	子ども食堂・パントリー	70,000
5	みんなの食卓Kitchenあんぶれら	子ども食堂・パントリー	60,000
6	カレーハウス笹野台	多世代食堂	60,000
7	地域食堂まちあわせ	多世代食堂	40,000
8	めぐり芽ぐむばつなぐ	不登校児の居場所づくり	70,000

9	市沢ほっこり食堂	多世代食堂	40,000
---	----------	-------	--------

【旭区地域福祉活動団体助成】

総額(円): **554,000**

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	広報紙発行	104,000

令和6年度 福祉教育実施状況

福祉教育【学校に向けたもの】

No	学校名・依頼者名	対象	実施日	内容	講師・協力団体
1	川井小学校	4年生	12月	視覚障害理解	View-net神奈川
2	左近山小学校	5年生	10月	高齢者理解	左近山地域ケアプラザ 左近山地区の地域の方
3	左近山小学校	6年生	12月	認知症について	ひまわりの会 左近山地域ケアプラザ
4	白根小学校	2年生	12月	聴覚障害理解	横浜市聴覚者協会
5	二俣川小学校	3年生	12月	高齢者理解	二俣川地域ケアプラザ 二俣川地区の地域の方
6	二俣川小学校	4年生	11月	障害当事者とボッチャ交流	工房アリアーレ
7	白根小学校	3年生	12月	車いす体験と当事者交流	活動ホームあさひ
8	白根小学校	4年生	12月	視覚障害理解	View-net神奈川
9	善部小学校	3・4年生	12月	車いす体験	サポートセンター連 南希望が丘地区の地域の方
10	二俣川看護福祉高等学校	3年生	9月	社協について	旭区社会福祉協議会職員
11	万騎が原小学校	4年生	2月	知的障害理解	アントママ
12	二俣川小学校	4年3組	2月	障害当事者交流・防災について	活動ホームふたまたがわ
13	旭陵高校	1年生	3月	ボランティアについて	旭区社会福祉協議会職員 ひかりが丘地域ケアプラザ 上白根地域ケアプラザ

令和6年度 金銭寄付者一覧

善意銀行【寄附金の受入】 件数:27件 預託金:610,850円

No.	受領日	寄託者名(敬称略)	金額(円)
1	5月14日	金子 晶子	5,000
2	5月27日	たかはし書道教室	5,000
3	5月27日	小川 竹子	2,000
4	5月27日	荻窪 邦昭	10,000
5	5月31日	旭区舞踊協会	45,061
6	6月7日	匿名	100,000
7	6月13日	あさひ茶花道協会	37,506
8	6月19日	伊志嶺 朝之	3,000
9	6月25日	神奈川土建一般労働組合横浜西支部	3,870
10	7月4日	匿名	5,000
11	7月26日	株式会社 清光社	100,000
12	8月2日	大保 ナツ子	20,000
13	9月25日	伊志嶺 朝之	3,000
14	10月15日	匿名	33,000
15	10月22日	荻窪 邦昭	10,000
16	11月6日	おべんとうひよどり	2,000
17	11月6日	小川 竹子	100,000
18	11月27日	伊志嶺 朝之	3,000
19	12月2日	都岡町内会チャリティもちつき大会	43,688
20	12月23日	伊藤 志壽江	20,000
21	12月27日	匿名	1,217
22	1月15日	匿名	34,000
23	1月27日	荻窪 邦昭	10,000
24	1月31日	伊志嶺 朝之	1,500
25	3月11日	志澤 希久子	10,000
26	3月24日	匿名	8
27	3月28日	伊志嶺 朝之	3,000

令和6年度 物品寄付者一覧

善意銀行【寄付物品の受入】件数:16件 【配分】件数:177件

No.	月 日	寄付物品名(寄付者／敬称略)	内容	配分先	配分 箇所数
1	4月17日	外山 京子 (食品)	酢	地域サロン	1
2	5月20日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	80枚 (40枚×2か月分)	旭区内障害手帳 所持者	26
3	5月25日	コスメ (一般社団法人バンクフォースマ イルズ)	コスメギフト 70セット	区社協主催 頒布会	1
4	6月14日	日用品 (万騎が原地区社会福祉協議 会)	キャラクタートイレッ トペーパー他	区社協主催 頒布会	1
5	7月1日	野菜 (西山 勉)	野菜(3世帯)	つながり食料支援事 業	3
6	7月2日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	80枚 (40枚×2か月分)	旭区内障害手帳 所持者	23
7	7月31日	コンサートチケット (旭ジャズまつり実行委員会)	50枚	第5種会員 障害者団体等 当事者団体	10
8	8月5日	野菜 (ハッ橋 政彦)	野菜(2世帯)	つながり食料支援事 業	2
9	8月17日	食品 (匿名)	そうめん他	食料支援	1
10	9月2日	野菜 (西山 勉)	野菜(2世帯)	つながり食料支援事 業	2
11	9月3日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	80枚 (40枚×2か月分)	旭区内障害手帳 所持者	26
12	10月7日	野菜 (西山 勉)	野菜(2世帯)	つながり食料支援事 業	2
13	11月5日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	80枚 (40枚×2か月分)	旭区内障害手帳 所持者	35
14	1月7日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	80枚 (40枚×2か月分)	旭区内障害手帳 所持者	41
15	3月4日	理容福祉券 (神奈川県理容生活衛生同業組 合旭支部)	60枚 (20枚×3か月分)	旭区内障害手帳 所持者	R7年度 に配分
16	3月3日	野菜 (ハッ橋 政彦)	野菜(3世帯)	つながり食料支援事 業	3